

目次 (令和6年度実施計画書)

※朱書きは新規事業

【施策の大綱5】中城の魅力を創造し発展させます

ページ	大綱	分野	事業名	課名
131	5	13-1	中城村農業振興推進事業	産業振興課
132	5	13-1	農山漁村振興交付金（最適土地利用総合対策）	産業振興課
133	5	13-1	農業用水対策施設設置補助事業	産業振興課
134	5	13-1	家畜伝染病予防事業	産業振興課
135	5	13-1	さとうきび優良種苗安定確保事業	産業振興課
136	5	13-1	さとうきび病害虫防除事業	産業振興課
137	5	13-1	一般農薬及び農産物出荷資材購入補助事業	産業振興課
138	5	13-1	農業用廃プラスチック適正処理	産業振興課
139	5	13-1	島ヤサイ産地拡大推進事業	産業振興課
140	5	13-1	<u>新規畑人資金支援事業（旧農業次世代人材投資事業）</u>	産業振興課
141	5	13-1	農地耕作条件改善事業（当間地区）	都市建設課
142	5	13-1	農業委員会運営事業	農業委員会
143	5	13-3	中城村商工会育成補助金	産業振興課
144	5	13-3	石油貯蔵施設立地対策等補助金事業	産業振興課
145	5	13-4	中城村シルバー人材センター育成補助金	産業振興課
146	5	13-4	沖縄中部勤労福祉サービスセンター補助金	産業振興課
147	5	13-5	ホームページ委託管理事業	産業振興課
148	5	13-5	中城城跡共同管理協議会負担金	産業振興課
149	5	13-5	中城村観光協会補助金	産業振興課
150	5	14-2	プロサッカーキャンプ誘致事業	産業振興課

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	中城村農業振興推進事業												
令和5年度事業費	6,382	千円	令和6年度事業費	10,208	千円	対前年度増減額	3,826	千円	総事業費(令和6～8年度)	28,776	千円	事業区分	継続事業

事業概要 重点品目の栽培技術の向上及び新たな推奨品目の検討に向けた栽培試験を行う。また、農業指導員を配置し、営農巡回指導を行うことにより生産農家の経営の安定化を図る。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	農政係
	分野	13-1 農業の振興										担当名	山下
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン										内線番号	232
事業期間	令和	4	年	～	令和	8	年	積算資料					

事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果					
生産農家は日常の栽培管理や収穫作業等に追われ、栽培技術の向上や新たな品目の検討にむけた栽培試験が実施できていない。その様な中、栽培技術の指導・支援に対する要望が多くあり、栽培技術の普及に向けた取組が必要である。						栽培技術の向上及び推奨品目の検討に向けた試験栽培を実施し、よりよい栽培方法や新たな品目を普及する事により、農作物の品質及び農家所得の向上に取り組むことができる。					

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	4,626	農業指導員1人、補助員1人	報酬	4,626	農業指導員1人、補助員1人	報酬	4,626	農業指導員1人、補助員1人
期末手当	945	2名分	期末手当	945	2名分	期末手当	945	2名分
勤勉手当	791	2名分	勤勉手当	791	2名分	勤勉手当	791	2名分
旅費	206	2名分	旅費	206	2名分	旅費	206	2名分
消耗品	200	栽培試験用資材	消耗品	200	栽培試験用資材	消耗品	200	栽培試験用資材
土地賃借料	32	試験圃場	土地賃借料	32	試験圃場	土地賃借料	32	試験圃場
重機リース	2,484		重機リース	2,484		重機リース	2,484	
農業用備品購入	924							
合計	10,208		合計	9,284		合計	9,284	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	8,166	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	7,427	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	7,427	千円 80.0%
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		2,042	千円 20.0%	一般財源		1,857	千円 20.0%	一般財源		1,857	千円 20.0%

令和6年度目標(KPI等)	・栽培試験2品目以上 ・実証試験の実施	令和6年度との相違点	・栽培試験2品目以上 ・栽培指針の作成に向けた検討	令和7年度との相違点	・栽培試験2品目以上 ・栽培指針の作成
今後の展開	継続的な栽培試験の実施 実証試験の実施	目標	継続的な栽培試験の実施 栽培指針作成に向けた検討	目標	栽培試験の結果をまとめ栽培指針を作成する。

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	農山漁村振興交付金（最適土地利用総合対策）												
令和5年度事業費	4,217	千円	令和6年度事業費	7,686	千円	対前年度増減額	3,469	千円	総事業費（令和6～8年度）	12,716	千円	事業区分	継続事業

事業概要 農用地保全に必要な地域ぐるみの話し合いによる最適土地利用構想の策定、基盤整備等の条件整備、鳥獣外被害防止対策、粗放的な土地利用等の総合的な取組を行う。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を生み出し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	農政係
	分野	13-1 農業の振興										担当名	山下
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン										内線番号	232
事業期間	令和		年	～	令和		年	積算資料					

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
<p>本村は、面積の90%が農業振興地域に指定され、うち25%（358ha）が農用地区域となっている。近年は、農業従事者の離農による農家人口の減少や担い手不足により荒廃農地が増え、特に土地改良事業未整備地区である西側の台地地区では、農用地区域の荒廃化が進んでいる。そのような現状の対策として、農地の土地利用構想（ゾーニング）を作成し農地の幹旋や荒廃農地解消事業やハウス施設整備など各種事業の支援を行う必要がある。</p>					<p>地域の話合いをもとに土地利用構想を作成し、担い手を集約し守るべき農地と粗放的な取組を行う農地などゾーニングを行い、それぞれのエリアにおける土地の利用方法を明確化することで、より効率的な農地利用や事業投資が図られる。</p>				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
需用費	906	実証圃場消耗品、印刷製本費	需用費	515	実証圃場消耗品	需用費	515	実証圃場消耗品
通信運搬費	34	チラシ送付	工事請負費	2,000	実証圃場整備工事(5,000㎡)	工事請負費	2,000	実証圃場整備工事(5,000㎡)
委託費	5,746	土地利用構想作成支援事業、実証圃場推進、地域座談会ファシリテータ委託料						
工事請負費	1,000	実証圃場整備工事(1,000㎡)						
合計	7,686		合計	2,515		合計	2,515	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	最適土地利用総合対策	3,726	千円 48.5%	県補助金名	最適土地利用総合対策	2,012	千円 80.0%	県補助金名	最適土地利用総合対策	2,012	千円 80.0%
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()	外部専門家招へい事業	2,772	千円 36.1%	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		1,188	千円 15.5%	一般財源		503	千円 20.0%	一般財源		503	千円 20.0%

令和6年度目標 (KPI等)	<ul style="list-style-type: none"> 地域座談会の開催(10回) 荒廃農地解消 50a 	令和6年度との相違点	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用構想の作成 荒廃農地解消 50a 	令和7年度との相違点	<ul style="list-style-type: none"> 荒廃農地解消 50a
今後の展開	土地利用構想の作成	目標	土地利用構想のもと各種事業の実施	目標	土地利用構想のもと各種事業の実施

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 農業用水対策施設設置補助事業													
令和5年度 事業費	300	千円	令和6年度 事業費	300	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和6～8年度)	900	千円	事業区分	継続事業

事業概要				第五次総合計画での位置付け						担当課					
農業生産性の向上を図る目的で農業用水の確保のための施設（打ち込み井戸、堀井戸、ボーリング井戸）を設置した個人又は団体に対し、経費の50%以内で、補助金限度額10万円を交付する。				施策の大綱		5. 中城の魅力を創造し発展させます						産業振興課			
				基本施策		⑬経済と産業のさらなる発展を目指します						担当係	農政係		
				分野		13-1 農業の振興						担当名	護得久		
				その他関係施策		中城村農業振興ビジョン						内線番号	234		
				事業期間		令和		H26		年		～		令和	

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
農業の生産性を向上させるためには、農業用水の安定的な確保が必要になる。農業用水確保のための施設設置を補助することにより、中城村の農業者が安定して生産できる環境を構築する。補助導入者が少ないので、HPや広報誌、中城村の農業関係者を通して農家への周知を図りたい。					既存の農業者および新規就農者が新たに取得した農地の初期費用負担を軽減させる。また、干ばつ時の被害軽減も図られており、中城村の農業生産物の安定生産に寄与している。 (平成26年～令和4年度実績値16件)				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	300	補助率1/2以内、1基あたり上限10万 3基	補助金	300	補助率1/2以内、1基あたり上限10万 3基	補助金	300	補助率1/2以内、1基あたり上限10万 3基
合計	300		合計	300		合計	300	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源		300	千円 100.0%	一般財源		300	千円 100.0%	一般財源		300	千円 100.0%

令和6年度目標 (KPI等)	対象とする農業者を減らして、現在の1基10万補助を15万補助に上限を引き上げる 3件補助	令和6年度との相違点	中城村在住の農業者への事業周知および施設導入の推奨	令和7年度との相違点	中城村在住の農業者への事業周知および施設導入の推奨
今後の展開	新規で農地を所得した者に補助事業を周知する。	目標	農業用水対策施設設置3基	目標	農業用水対策施設設置3基

実施計画書（令和6年度～令和8年度）

事業名		家畜伝染病予防事業											
令和5年度 事業費	270千円	令和6年度 事業費	257千円	対前年度 増減額	▲13千円	総事業費 (令和6～8年度)	771千円	事業区分	継続事業				
事業概要				第五次総合計画での位置付け					担当課				
家畜の伝染病疾病の派生を予防し、まん延を防止するため、ワクチン代を農家へ補助する。				施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます					産業振興課			
				基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します					担当係	農政係		
				分野	13-1 農業の振興					担当名	護得久		
				その他関係施策						内線番号	234		
				事業期間	令和	H24	年	～	令和	年	積算資料	有	
事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果							
畜舎内の家畜が伝染病に感染することにより、殺処分等で農家の経営に深刻な打撃を与えないよう、伝染病を予防する必要がある。						家畜伝染病予防を確立することにより、畜産農家の安定的な経営をサポートしている。また、他の市町村への感染予防にもなっており、県産品の食用肉安定供給にも貢献している。 (R4家畜伝染病報告数0件)							
令和6年度			令和7年度			令和8年度							
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容					
報償費	200	予防注射獣医師謝礼金	報償費	200	予防注射獣医師謝礼費	報償費	200	予防注射獣医師謝礼費					
需用費	57	消耗品	需用費	57	消耗品	需用費	57	消耗品					
合計	257		合計	257		合計	257						
財源内訳			財源内訳			財源内訳							
国庫補助金名		千円	国庫補助金名		千円	国庫補助金名		千円					
県補助金名		千円	県補助金名		千円	県補助金名		千円					
地方債		千円	地方債		千円	地方債		千円					
その他()		千円	その他()		千円	その他()		千円					
一般財源		257千円	100.0%	一般財源		257千円	100.0%	一般財源		257千円	100.0%		
令和6年度目標 (KPI等)	伝染病感染のリスクを防ぐために、関係機関と連携をとり、伝染病が発生しないよう予防活動を行う。 豚丹毒ワクチン接種 500頭 日本脳炎ワクチン接種 100頭		令和6年度 との相違点	伝染病感染のリスクを防ぐために、関係機関と連携をとり、伝染病が発生しないよう予防活動を行う。		令和7年度 との相違点	伝染病感染のリスクを防ぐために、関係機関と連携をとり、伝染病が発生しないよう予防活動を行う。						
今後の展開	家畜伝染病が流入しないよう農家および関係機関に予防についての情報を周知する。		目標	豚丹毒ワクチン接種 500頭 日本脳炎ワクチン接種 100頭		目標	豚丹毒ワクチン接種 500頭 日本脳炎ワクチン接種 100頭						

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	さとうきび優良種苗安定確保事業												
令和5年度 事業費	795	千円	令和6年度 事業費	889	千円	対前年度 増減額	94	千円	総事業費 (令和6～8年度)	2,667	千円	事業区分	継続事業

事業概要 無病性・強い発芽力・高品質・高収量などの特徴を持つ優良種苗の原種苗及び採種苗を圃場に設置し、生産農家へ栽培管理を委託して増殖させ、優良種苗の安定確保を推進する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	農政係
	分野	13-1 農業の振興										担当名	比嘉 由美
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン										内線番号	234
事業期間	令和		年	～	令和		年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果					
さとうきびの生産安定と品質向上を目的に沖縄県奨励品種の原種苗及び採種苗を圃場に設置し、優良種苗の確保及び普及を図る。 優良品種の普及と併せて、地域に適した品種選定、品種の特性を活かした栽培方法等の普及していき生産量の向上が課題である。						安定多収品種の優良種苗を普及することでさとうきびの品質向上、生産量向上に寄与している。					

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
需用費	50	消耗品費	需用費	50	実証圃場消耗品、印刷製本費	需用費	50	実証圃場消耗品、印刷製本費
委託費	839	苗圃設置委託料	委託費	839	苗圃設置委託料	委託費	839	苗圃設置委託料
合計	889		合計	889		合計	889	

財源内訳				財源内訳				財源内訳						
国庫補助金名	千円	千円	%	国庫補助金名	千円	千円	%	国庫補助金名	千円	千円	%			
県補助金名	さとうきび優良種苗安定確保事業委託金	322	千円	36.2%	県補助金名	さとうきび優良種苗安定確保事業委託金	322	千円	36.2%	県補助金名	さとうきび優良種苗安定確保事業委託金	322	千円	36.2%
地方債			千円		地方債		千円		地方債		千円			
その他()			千円		その他()		千円		その他()		千円			
一般財源		567	千円	63.8%	一般財源		567	千円	63.8%	一般財源		567	千円	63.8%

令和6年度目標 (KPI等)	奨励品種を推奨し、さとうきびの品質向上及び反収増加を図る。 令和4/5年期生産量 2,324 t 以上	令和6年度との相違点	地域に適した新品種の検討・選定	令和7年度との相違点	新しい品種の選定及び農家への普及
今後の展開	関係機関及び生産者の意見を基に地域に適した品種の選定を行う。	目標	品質向上及び反収増加	目標	品質向上及び反収増加

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 さとうきび病害虫防除事業													
令和5年度 事業費	736	千円	令和6年度 事業費	649	千円	対前年度 増減額	▲ 87	千円	総事業費 (令和6～8年度)	1,947	千円	事業区分	継続事業

事業概要 さとうきび病害虫（ガタバー及び野そ）一斉防除を行うため生産農家に対し農薬の配布を行う。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	農政係
	分野	13-1 農業の振興										担当名	比嘉 由美
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン										内線番号	234
事業期間	令和		年	～	令和		年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
近年、多様化する病害虫の異常発生によりさとうきび生産量に影響を及ぼしている。発生を抑制し生産量の向上を図るため、生産農家に対し農薬を配布し一斉防除を実施する。ガタバーや野そについては一斉防除により被害が軽減されているが、それ以外の病害虫（イネヨトウ、カンシャワタバプラムシ等）に対しても対策が必要である。	病害虫防除によりさとうきびの品質向上が図られている。防除はさとうきび栽培に欠かせない作業であり、また交付金（甘味資源作物）の交付要件であることから、継続して実施する。

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
需用費	649	農薬配布消耗品費	需用費	649	農薬配布消耗品費	需用費	649	農薬配布消耗品費
合計	649		合計	649		合計	649	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	千円			国庫補助金名	千円			国庫補助金名	千円		
県補助金名	千円			県補助金名	千円			県補助金名	千円		
地方債	千円			地方債	千円			地方債	千円		
その他()	千円			その他()	千円			その他()	千円		
一般財源	649	千円	100.0%	一般財源	649	千円	100.0%	一般財源	649	千円	100.0%

令和6年度目標 (KPI等)	さとうきびの病害虫防除事業を実施し、多様化する病害虫の発生を抑制し生産量の向上を図る。 令和4/5年期生産量 2,324 t	令和6年度との相違点	農薬散布の適正量の周知及び農業機械をうまく活用した農薬散布方法の検討・普及	令和7年度との相違点	農薬散布の適正量の周知及び農業機械を活用した農薬散布方法の普及
今後の展開	関係機関と協議し、防除方法や薬剤の効果を加味したより良い農薬の検討。	目標	多様化する病害虫発生の抑制及び作業効率化	目標	多様化する病害虫発生の抑制及び作業効率化

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 一般農薬及び農産物出荷資材購入補助事業													
令和5年度 事業費	1,791	千円	令和6年度 事業費	3,480	千円	対前年度 増減額	1,689	千円	総事業費 (令和6～8年度)	10,440	千円	事業区分	継続事業

事業概要 J A 沖縄・花き農協組合員（花き・果樹・野菜）が農薬及び出荷資材を購入する際に補助（30%）を行い農家経営の負担を軽減し本村の農業振興に寄与する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	農政係
	分野	13-1 農業の振興										担当名	比嘉 由美
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン										内線番号	234
事業期間	令和		年	～	令和		年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
作物の多様化する病気や病害虫対策としての農薬補助及び高騰する出荷資材の購入補助を行い、生産経費を軽減し、農家の経営安定を図る。					農家負担を軽減し、農家の経営安定を図った。今後も継続して事業を実施し農家経営の安定に寄与する。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
負担金補助	2,395	一般農薬補助金	負担金補助	2,395	一般農薬補助金	負担金補助	2,395	一般農薬補助金
	1,085	農産物出荷資材購入補助金		1,085	農産物出荷資材購入補助金		1,085	農産物出荷資材購入補助金
合計	3,480		合計	3,480		合計	3,480	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	千円	県補助金名	千円	国庫補助金名	千円	県補助金名	千円	国庫補助金名	千円	県補助金名	千円
地方債		地方債		地方債		地方債		地方債		地方債	
その他()		その他()		その他()		その他()		その他()		その他()	
一般財源	3,480	千円	100.0%	一般財源	3,480	千円	100.0%	一般財源	3,480	千円	100.0%

令和6年度目標 (KPI等)	農家経営の安定化	令和6年度 との相違点	補助の継続的な実施	令和7年度 との相違点	補助の継続的な実施
今後の展開	農家経営の安定化を目指す。	目標	農業経営の安定化	目標	農業経営の安定化

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 農業用廃プラスチック適正処理													
令和5年度 事業費	725	千円	令和6年度 事業費	699	千円	対前年度 増減額	▲ 26	千円	総事業費 (令和6～8年度)	2,097	千円	事業区分	継続事業

事業概要				第五次総合計画での位置付け						担当課			
協議会が農家からの委任を受け農業用廃プラスチック類の業者を選定し、回収作業の日程を調整する（年間2回）処理業者へ処理を委託することにより、農業経営の安定化を図り、村内の農業振興に寄与する。				施策の大綱		5. 中城の魅力を創造し発展させます						産業振興課	
				基本施策		⑬経済と産業のさらなる発展を目指します						担当係	農政係
				分野		13-1 農業の振興						担当名	比嘉 由美
				その他関係施策		中城村農業振興ビジョン						内線番号	234
				事業期間		令和		年		～		令和	

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
農業生産における廃プラスチック類は、農家自らの責任で適正に処理することが義務付けとなっているが、処理費の負担が多く、また、農業経営が小規模な農家が多いことから、協議会で一括で委任を受け回収時期、回収の際の仕分け、梱包の方法、付着物除去や産廃の発生の抑制、再利用等の周知をし処理業者へ搬入する。周知に際しては村のHPや広報誌・防災無線を活用					農業用廃プラスチックの適正処理と農家負担の軽減（処理料・Manifesto交付事務等）が図られている。適正な回収処理を行うことで生活環境・公衆衛生の向上へ寄与している。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
負担金補助及び交付金	699	中城村廃プラスチック適正処理対策協議会補助金	負担金補助及び交付金	699	中城村廃プラスチック適正処理対策協議会補助金	負担金補助及び交付金	699	中城村廃プラスチック適正処理対策協議会補助金
合計	699		合計	699		合計	699	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源		699	千円 100.0%	一般財源		699	千円 100.0%	一般財源		699	千円 100.0%

令和6年度目標 (KPI等)	協議会の適切な運用及び回収方法の指導徹底	令和6年度 との相違点	協議会の適切な運用	令和7年度 との相違点	協議会の適切な運用及び回収方法の指導徹底
今後の展開	関係機関と調整し、適正処理を行う。	目標	回収方法についての周知・指導	目標	回収方法についての周知・指導

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 島ヤサイ産地拡大推進事業													
令和5年度 事業費	166	千円	令和6年度 事業費	193	千円	対前年度 増減額	27	千円	総事業費 (令和6～8年度)	579	千円	事業区分	継続事業

事業概要 島ヤサイの産地力強化を推進するため、安定生産技術の現地実証とその効果の確認による生産農家への栽培指導、技術の普及活動等を実施する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	農政係
	分野	13-1 農業の振興										担当名	比嘉 由美
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン										内線番号	234
事業期間	令和		年	～	令和		年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
中城村の特産品である、島ニンジン近年の異常気象や多様化する病害虫の発生により品質及び出荷量が低下している。また、県内において島ニンジンの産地としての知名度も低い。本事業を活用して効率的な栽培方法の実証試験、技術の普及により品質及び生産量の向上や流通量の拡大を図る。					展示圃を設置し現地実証を行い、実証結果を生産農家へ普及する事により島ニンジンの品質及び生産量向上を図る。又、島ニンジン緑化防止包装フィルムの技術を普及させ値決め販売農家の増加・流通量の増加を図る。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	193		委託料	193		委託料	193	
合計	193		合計	193		合計	193	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源		193	千円 100.0%	一般財源		193	千円 100.0%	一般財源		193	千円 100.0%

令和6年度目標 (KPI等)	島ニンジン出荷数量の増加を目指す。 目標生産量 島ニンジン 55 t	令和6年度 との相違点	島ニンジン増産に向けた栽培方法の確立及び作業 省力化の実証・普及	令和7年度 との相違点	島ニンジンの県外出荷に向け検討を行う。
今後の展開	島ニンジン包装フィルムの更なる普及。	目標	島ニンジン出荷数量の増加 45 t	目標	島ニンジン出荷数量の増加 55 t

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	新規畑人資金支援事業（旧農業次世代人材投資事業）												
令和5年度事業費	1,500	千円	令和6年度事業費	1,500	千円	対前年度増減額	0	千円	総事業費（令和6～8年度）	3,000	千円	事業区分	新規事業（通常）

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課	
市町村長に認定された認定新規就農者で、地域計画の目標地図に位置付けられた、もしくは農地中間管理機構から農地を賃借している就農3年未満の青年（就農されるとき年齢が原則50歳未満）の方を対象に、次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農直後の経営安定のため、年間最大150万円の資金を最長3年間給付する。			施策の大綱		5. 中城の魅力を創造し発展させます				産業振興課	
			基本施策		⑬経済と産業のさらなる発展を目指します				担当係	農政係
			分野		13-1 農業の振興				担当名	護得久
			その他関係施策		中城村農業振興ビジョン				内線番号	234
			事業期間		令和	5	年	～	令和	年

事業を実施する必要性と現状の課題				事業実施効果			
就農直後の青年就農者に対して、新規畑人資金支援事業の就農開始資金を交付することで、青年就農者の所得を安定させて農業への定着を図る。中城村での農業従事者を増やすため、就農希望者への事業の周知を図る必要がある。				就農直後で収入が不安定な青年農業者に対して、新規畑人資金支援事業の経営開始資金を交付することにより、青年農業者の経営を安定させて定着を図ることができる。また、青年農業者が増加することにより、中城村の農業従事者の平均年齢の若返り、および農地需要の向上による耕作放棄地解消が期待できる。			

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	1,500	新規畑人資金支援事業	補助金	1,500	新規畑人資金支援事業			
合計	1,500		合計	1,500		合計		

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	事業費(千円)	千円		国庫補助金名	事業費(千円)	千円		国庫補助金名	事業費(千円)	千円	
県補助金名	新規畑人資金支援事業	1,500	100.0%	県補助金名	新規畑人資金支援事業	1,500	100.0%	県補助金名			
地方債				地方債				地方債			
その他()				その他()				その他()			
一般財源				一般財源				一般財源			

令和6年度目標 (KPI等)	対象農家の農業定着、新規就農者2名の確保	令和6年度との相違点	対象農家の就農状況に応じた営農指導、農地のあつ旋、営農相談等によりサポートを行い農業定着を図る	令和7年度との相違点	対象農家の就農状況に応じた営農指導、農地のあつ旋、営農相談等によりサポートを行い農業定着を図る
今後の展開	対象農家の就農状況に応じた営農指導、農地のあつ旋、営農相談等によりサポートを行い農業定着を図る	目標	対象農家の農業定着、新規就農者2名の確保	目標	対象農家の農業定着、新規就農者2名の確保

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	農地耕作条件改善事業（当間地区）												
令和5年度事業費	64,163	千円	令和6年度事業費	193,087	千円	対前年度増減額	128,924	千円	総事業費（令和6～8年度）	193,087	千円	事業区分	継続事業

事業概要 未舗装農道のアスファルト舗装の実施による優良農地環境の整備を行う。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										都市建設課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	農水土木係
	分野	13-1 農業の振興										担当名	永田 勉
	その他関係施策	中城村農業振興ビジョン										内線番号	
事業期間	令和	4	年	～	令和	6	年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
農道が未舗装のため、降雨時には路盤材の流失による路面の損傷が見られる。また、日照時には粉塵が発生し、農地に飛散し農作物の品質の低下等の悪影響を及ぼし、農業生産性の低下につながっている。					アスファルト舗装を行うことにより、農地への出入りが容易となる。粉塵の影響もなく、農地環境を改善し、農業生産性の向上を図ることができる。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事費	184,997	農道舗装工事						
委託費	7,590	現場技術業務、農道台帳整備						
補償費	500	作物補償						
合計	193,087		合計			合計		

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	農地耕作条件改善事業	173,597	千円	89.9%	国庫補助金名			千円		国庫補助金名			千円	
県補助金名			千円		県補助金名			千円		県補助金名			千円	
地方債	農道整備事業債	17,200	千円	8.9%	地方債			千円		地方債			千円	
その他()			千円		その他()			千円		その他()			千円	
一般財源		2,290	千円	1.2%	一般財源			千円		一般財源			千円	

令和6年度目標 (KPI等)	未舗装道路14路線のアスファルト舗装	令和6年度との相違点		令和7年度との相違点	
今後の展開	定期的な点検による維持管理の実施	目標		目標	

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 農業委員会運営事業													
令和5年度 事業費	13,026	千円	令和6年度 事業費	13,026	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和6～8年度)	39,078	千円	事業区分	継続事業

事業概要 農業委員会は、農地法に基づく売買・貸借の許可、農地転用案件への意見を述べたり、遊休農地の調査・指導などを中心に農地に関する事務を執行している。	第五次総合計画での位置付け							担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます					農業委員会			
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します					担当係			
	分野	13-1 農業の振興					担当名		比嘉和也	
	その他関係施策						内線番号		236	
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	無	

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
遊休農地や耕作放棄地が増加していることを踏まえ、平成28年4月1日から改正農業委員会法が施行され、農地等の利用の最適化の推進に関する事務（担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進による農地等の利用の効率化及び高度化の促進）が必須業務となった。	優良農地の確保と有効利用に向けて審議し、認定農業者等担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入を図る。

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	8,569	農委、推委、任用職員	報酬	8,569	農委、推委、任用職員	報酬	8,569	農委、推委、任用職員
期末手当	752	任用職員2人	期末手当	752	任用職員2人	期末手当	752	任用職員2人
旅費	1,368	費用弁償、県外旅費	旅費	1,368	費用弁償、県外旅費	旅費	1,368	費用弁償、県外旅費
需用費	320	消耗品、印刷製本費	需用費	320	消耗品、印刷製本費	需用費	320	消耗品、印刷製本費
役務費	193	通信運搬費	役務費	193	通信運搬費	役務費	193	通信運搬費
委託料	1,747	会議録、システム保守等	委託料	1,747	会議録、システム保守等	委託料	1,747	会議録、システム保守等
使用料	21	タブレット使用料	使用料	21	タブレット使用料	使用料	21	タブレット使用料
負担金	56	各団体負担金	負担金	56	各団体負担金	負担金	56	各団体負担金
合計	13,026		合計	13,026		合計	13,026	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	農委、最適化交付金等	3,107	千円 23.9%	県補助金名	農委、最適化交付金等	3,107	千円 23.9%	県補助金名	農委、最適化交付金等	3,107	千円 23.9%
地方債				地方債				地方債			
その他()	農業者年金委託料	167	千円 1.3%	その他()	農業者年金委託料	167	千円 1.3%	その他()	農業者年金委託料	167	千円 1.3%
一般財源		9,752	千円 74.9%	一般財源		9,752	千円 74.9%	一般財源		9,752	千円 74.9%

令和6年度目標 (KPI等)	遊休農地解消（年間）3ha、担い手への農地集積1.2ha、新規参入（年間）2経営体を目標として活動する。 （農業委員6名、農地利用最適化推進委員6名）	令和6年度との相違点	令和6年度の課題を確認後改善を図る。	令和7年度との相違点	令和7年度の課題を確認後改善を図る。
今後の展開	農地中間管理機構と連携を図る。	目標	優良農地の確保や担い手への農地利用集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進をする。	目標	優良農地の確保や担い手への農地利用集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進をする。

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 中城村商工会育成補助金													
令和5年度 事業費	2,700	千円	令和6年度 事業費	2,700	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和6～8年度)	8,100	千円	事業区分	継続事業

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課	
地域の商工業者が求める支援ニーズに的確に対応し、関係機関との連携による金融、経営革新、ものづくり支援、創業支援、六次産業化、事業承継、販路拡大支援など、地域経済の要となる中小・小規模企業の支援強化を図るため、中城村商工会へ補助金を交付する。			施策の大綱		5. 中城の魅力創造し発展させます				産業振興課	
			基本施策		⑬経済と産業のさらなる発展を目指します				担当係	商工観光係
			分野		13-3 商工業の振興				担当名	糸数昌樹
			その他関係施策						内線番号	233
			事業期間		令和 6 年 ~ 令和 8 年		積算資料		無	

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
地域に根ざした商工業者の自主的な組織として設立された商工会は、会員企業の発展を支援すること使命としており、その商工会の活動を支援することで地域産業の育成はもとより地域コミュニティの維持活動や地域の活性化に結びつく。近年は、会員の高齢化に伴う事業継承が課題である。					関係機関との連携による金融、経営革新、ものづくり支援、創業支援、六次産業化、事業承継、販路拡大支援など、地域経済の要となる中小・小規模企業の支援強化を図ることができる。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	2,700	各種支援事業	補助金	2,700	各種支援事業	補助金	2,700	各種支援事業
合計	2,700		合計	2,700		合計	2,700	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源		2,700	千円 100.0%	一般財源		2,700	千円 100.0%	一般財源		2,700	千円 100.0%

令和6年度目標 (KPI等)	・会員数：420	令和6年度との相違点	経営戦略の見直しや事業承継、デジタル社会への加速化への取組強化	令和7年度との相違点	経営戦略の見直しや事業承継、デジタル社会への加速化への取組強化
今後の展開	・伴走型支援の継続実施 ・コロナ禍に際して利用した特別融資の返済開始が困難な事業者への資金繰りへの対応	目標	・会員数：430	目標	・会員数：430

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 石油貯蔵施設立地対策等補助金事業													
令和5年度 事業費	3,305	千円	令和6年度 事業費	3,305	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和6～8年度)	9,305	千円	事業区分	継続事業

事業概要 石油貯蔵施設が立地する周辺地域における住民福祉の向上を通じて、石油貯蔵施設設置の円滑化を図るため、石油貯蔵施設立地対策等補助金（間接補助）を活用し社会インフラの整備を実施する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	商工観光係
	分野	13-3 商工業の振興										担当名	糸数昌樹
	その他関係施策											内線番号	233
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	無				

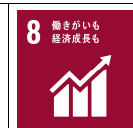
事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
石油貯蔵施設の設置の円滑化に資することを目的に、道路、湾港、漁港、都市公園及び水道等の公共用施設を整備することで、住民の福祉の向上を図る必要がある。	事業の実施により、地域住民の安全確保や福祉の向上を図ることができる。

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託費・工事費	3,305	公共施設の整備	委託費・工事費	3,000	公共施設の整備	委託費・工事費	3,000	公共施設の整備
合計	3,305		合計	3,000		合計	3,000	

令和6年度 財源内訳				令和7年度 財源内訳				令和8年度 財源内訳			
国庫補助金名	金額	千円	割合	国庫補助金名	金額	千円	割合	国庫補助金名	金額	千円	割合
石油貯蔵施設立地対策等補助金	3,305	千円	100.0%	石油貯蔵施設立地対策等補助金	3,000	千円	100.0%	石油貯蔵施設立地対策等補助金	3,000	千円	100.0%
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源		千円		一般財源		千円		一般財源		千円	

令和6年度目標 (KPI等)	石油貯蔵施設立地対策等補助金を活用し、地域住民の安全確保のため公共用施設を整備する。	令和6年度との相違点	必要性及び緊急性が高い公共用施設の整備	令和7年度との相違点	必要性及び緊急性が高い公共用施設の整備
今後の展開	必要性が高い社会インフラ整備の実施 積立基金の検討	目標	石油貯蔵施設立地対策等補助金を活用し、地域住民の安全確保のため公共用施設を整備する。	目標	石油貯蔵施設立地対策等補助金を活用し、地域住民の安全確保のため公共用施設を整備する。

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 中城村シルバー人材センター育成補助金													
令和5年度 事業費	2,340	千円	令和6年度 事業費	2,753	千円	対前年度 増減額	413	千円	総事業費 (令和6～8年度)	7,433	千円	事業区分	継続事業

事業概要 就業等を通して高齢者の社会参加を促進するとともに地域の求めるサービスを提供することにより、高齢者福祉の増進と地域の活性化を目指す中城村シルバー人材センターに対して補助金を交付する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を生み出し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	商工観光係
	分野	13-4 働きやすい環境整備										担当名	糸数昌樹
	その他関係施策											内線番号	233
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題										事業実施効果			
本団体は、仕事を通じて社会参加し、健康づくりと生きがいを求める高齢者に対して仕事を提供するために組織されており、営利を目的とするものではありません。当然、団体自ら受注件数を増やすための営業活動が必要ではあるが、前述のとおり営利を目的とする団体ではないことから、団体運営に必要な事業費を最低限支援する必要がある。 会員数の確保及び就業率の向上が課題である。										就業等を通して高齢者の社会参加を促進するとともに地域の求めるサービスを提供することにより、高齢者福祉の増進と地域の活性化を図ることができる。			

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	2,753	各種支援事業	補助金	2,340	各種支援事業	補助金	2,340	各種支援事業
合計	2,753		合計	2,340		合計	2,340	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源		2,753	千円 100.0%	一般財源		2,340	千円 100.0%	一般財源		2,340	千円 100.0%

令和6年度目標 (KPI等)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数：70名 ・受注契約額：14,925千円 ・就業延人員：2,500人日 ・就業率：75% 	令和6年度との相違点	<ul style="list-style-type: none"> ・技能講習会等の開催の強化し受注業務の拡充を図る。 	令和7年度との相違点	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動等の推進及び各種趣味サークル活動への積極的な参加し会員の交流を深める
今後の展開	会員数の確保と受注金額及び就業率の向上を図る	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数：70名以上 ・受注契約額：15,000千円 ・就業延人員：2,600人日 ・就業率：78% 	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数：70名以上 ・受注契約額：16,000千円 ・就業延人員：2,700人日 ・就業率：80%

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 沖縄中部勤労福祉サービスセンター補助金													
令和5年度 事業費	840	千円	令和6年度 事業費	830	千円	対前年度 増減額	▲ 10	千円	総事業費 (令和6～8年度)	2,510	千円	事業区分	継続事業

事業概要 村内中小企業勤労者へ健康診断や人間ドック受診の助成、自己啓発事業などを実施する沖縄中部勤労福祉サービスセンターに補助金を交付する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	商工観光係
	分野	13-4 働きやすい環境整備										担当名	糸数昌樹
	その他関係施策											内線番号	233
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	無				

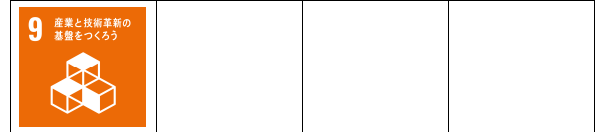
事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
本団体へ補助金を交付することにより、中小企業勤労者等のための総合的な福祉事業を行うことが可能となり、福祉の向上を図るとともに中小企業の振興、地域社会の活性化を図ることができる。 村内事業所及び在住者の会員数が少ないことが課題である。					村内事業所の福利厚生を幅を広げ、福祉の向上を図るとともに地域社会の活性化を図ることができる。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	830	各種支援事業	補助金	840	各種支援事業	補助金	840	各種支援事業
合計	830		合計	840		合計	840	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	千円			国庫補助金名	千円			国庫補助金名	千円		
県補助金名	千円			県補助金名	千円			県補助金名	千円		
地方債	千円			地方債	千円			地方債	千円		
その他()	千円			その他()	千円			その他()	千円		
一般財源	830	千円	100.0%	一般財源	840	千円	100.0%	一般財源	840	千円	100.0%

令和6年度目標 (KPI等)	加盟事業所数：10事業所	令和6年度 との相違点	中部広域化促進を促し加盟事業者数の向上を図る	令和7年度 との相違点	商工会・同業者団体への加入促進を強化し加盟事業者数の向上を図る
今後の展開	事業概要の周知を図り、加盟事業者数の増加を目指す	目標	加盟事業所数：11事業所	目標	加盟事業所数：12事業所

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 ホームページ委託管理事業													
令和5年度 事業費	1,000	千円	令和6年度 事業費	1,000	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和6～8年度)	2,300	千円	事業区分	継続事業

事業概要 中城村への観光誘客及びグスク城主「護佐丸」の認知度向上のため、既存HP（①とよむ中城②護佐丸クロニクル）の保守管理委託を行う。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	商工観光係
	分野	13-5 観光の振興										担当名	糸数昌樹
	その他関係施策											内線番号	233
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果					
世界遺産「中城城跡」の認知度は上がってきているが、中城グスク城主の「護佐丸」の認知度はまだまだ低いことが課題である。そのため、護佐丸の生涯を映像化しHPで広く公開することでその魅力を広く発信する必要がある。また、中城村への誘客促進を目的に、中城村の観光情報を広く発信するHPを維持する必要がある。						中城村の観光情報や、中城城跡、城主護佐丸の情報を広く発信することで、中城村に訪れる観光客が増え、結果として地域の活性化が期待できる。					

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	1,000	システム保守料	委託料	800	システム保守料	委託料	500	システム保守料
合計	1,000		合計	800		合計	500	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源		1,000	千円 100.0%	一般財源		800	千円 100.0%	一般財源		500	千円 100.0%

令和6年度目標 (KPI等)	既存HP（①とよむ中城②護佐丸クロニクル及び中城村観光協会のHP）の改修及び1部廃止し、更新管理等を中城村観光協会への委託を目指す。	令和6年度との相違点	リニューアルしたHPにて中城村の観光情報等を発信する。	令和7年度との相違点	閲覧者数の増加や、村内への観光客数増加を図る。
今後の展開	中城村から発信する観光及びふるさと納税等の情報を1つのHPで確認できるように再構築する。	目標	閲覧者数年間：合計20,000件	目標	・閲覧者数、対前年度比3,000増

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 中城城跡共同管理協議会負担金													
令和5年度 事業費	27,628	千円	令和6年度 事業費	32,968	千円	対前年度 増減額	5,340	千円	総事業費 (令和6～8年度)	88,968	千円	事業区分	継続事業

事業概要 世界遺産中城城跡の管理・運営業務を行っている中城城跡共同管理協議会に負担金を交付する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力創造し発展させます										産業振興課	
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します										担当係	商工観光係
	分野	13-5 観光の振興										担当名	糸数昌樹
	その他関係施策											内線番号	233
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
中城城跡共同管理協議会は中城城跡の管理運営及び活用に関する業務を担っているため、その業務にかかる費用を負担する必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き入場者数も回復計画である。 管理運営に係るコストの見直しが課題。	中城城跡の適正な管理運営及び活用を図ると共に、中城村の観光振興にも寄与する。

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
負担金	32,968	運営費負担金	負担金	28,000	運営費負担金	負担金	28,000	運営費負担金
合計	32,968		合計	28,000		合計	28,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()	中城城跡観覧料収入	32,968	千円 100.0%	その他()	中城城跡観覧料収入	28,000	千円 100.0%	その他()	中城城跡観覧料収入	28,000	千円 100.0%
一般財源		千円		一般財源		千円		一般財源		千円	

令和6年度目標 (KPI等)	・中城城跡年間来場者数：12万人	令和6年度との相違点	・観光案内人ボランティア団体の育成及び助成の強化。	令和7年度との相違点	・観光資源の付加価値を高める施策の展開
今後の展開	中城城跡管理運営の改善計画の検討 中城村公園整備事業及び中城ハンタ道事業との連携し管理棟移設計画の検討が必要	目標	・中城城跡年間来場者数：13万人	目標	・中城城跡年間来場者数：14万人

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 中城村観光協会補助金													
令和5年度 事業費	13,891	千円	令和6年度 事業費	13,784	千円	対前年度 増減額	▲107	千円	総事業費 (令和6～8年度)	41,784	千円	事業区分	継続事業

事業概要 観光関連事業者との連携を図りながら、将来的には自主財源を確保しながら戦略的に観光振興に取り組む体制づくりを推進するために設立された中城村観光協会に補助金を交付する。	第五次総合計画での位置付け								担当課		
	施策の大綱	5. 中城の魅力を創造し発展させます						産業振興課			
	基本施策	⑬経済と産業のさらなる発展を目指します						担当係	商工観光係		
	分野	13-5 観光の振興						担当名	糸数昌樹		
	その他関係施策							内線番号	233		
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	無		

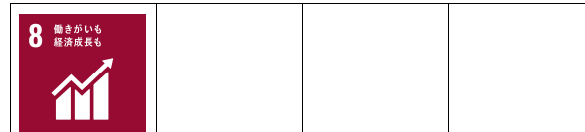
事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
沖縄県では観光を県経済のリーディング産業と位置付けており、観光の意義と沖縄県の特徴を踏まえ「世界水準のリゾート地」の実現に向け施策を展開している。本村においても、沖縄観光における成長戦略の一助となるべく、戦略的に観光振興に取り組む組織として観光協会が設立されたが、将来的に自主財源を確保しながら運営できる体制を目指すためには、組織基盤をしっかりと整備する必要があることから補助金を交付する。	観光振興の分野で求められる柔軟で機動力のある事業の展開が期待でき、地域活性化及び経済活性化が期待できる。

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	13,784	運営費補助金	補助金	14,000	運営費補助金	補助金	14,000	運営費補助金
合計	13,784		合計	14,000		合計	14,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源	13,784	千円	100.0%	一般財源	14,000	千円	100.0%	一般財源	14,000	千円	100.0%

令和6年度目標 (KPI等)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数：60会員 ・事務局長候補者の選定 ・ナイトコンテンツの造成 	令和6年度との相違点	自主財源となる収益事業の確立に向けた取り組み	令和7年度との相違点	自主財源となる収益事業の確立に向けた取り組み
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局体制及び組織基盤の強化 ・中城城跡管理運営委託の検討 	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・組織づくりの強化 ・観光メニュー及び商品開発 ・誘客促進のための観光情報発信の整備 ・中城城跡管理運営委託の検討 	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・組織づくりの強化 ・観光メニュー及び商品開発 ・誘客促進のための観光情報発信の整備 ・中城城跡管理運営委託の検討

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名		プロサッカーキャンプ誘致事業									
令和5年度 事業費	2,106千円	令和6年度 事業費	3,000千円	対前年度 増減額	894千円	総事業費 (令和6～8年度)	8,000千円	事業区分	継続事業		

事業概要				第五次総合計画での位置付け				担当課			
サッカーに適した芝を有するごさまる陸上競技場でのプロのサッカーチームによるキャンプを通して、中城村への観光客誘客促進を図ることを目的とし、サッカーキャンプの誘致活動及びサッカーキャンプの支援事業を実施する。				施策の大綱				産業振興課			
				基本施策				担当係			
				分野				担当名			
				その他関係施策				内線番号			
事業期間				令和6年～令和8年				積算資料			

事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果					
誘致活動やキャンプ期間中の支援を通してキャンプの定着化を図る必要がある。陸上競技場施設観客スタンド改修事業と連携を図りつつ、安心安全な環境を提供することが課題である。						キャンプ実施に伴い、県内外からの観光客誘客へとつながる。また、来場者に対して、中城城跡や飲食店を周遊するスタンプラリーを実施することで、域内への経済効果や沖縄県のスポーツツーリズムに寄与することができる					

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	3,000	キャンプ誘致及びキャンプ支援	委託料	2,500	キャンプ誘致及びキャンプ支援	委託料	2,500	キャンプ誘致及びキャンプ支援
合計	3,000		合計	2,500		合計	2,500	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	2,400	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	2,000	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	2,000	千円 80.0%
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		600	千円 20.0%	一般財源		500	千円 20.0%	一般財源		500	千円 20.0%

令和6年度目標 (KPI等)	キャンプ見学者数：6,000人 プロサッカーキャンプ誘致チーム数：2チーム	令和6年度 との相違点	観客スタンド改修事業と連携し安全安心なキャンプ開催に努める。	令和7年度 との相違点	新しい観客スタンドを活用したキャンプ事業を展開する。
今後の展開	効果的な周知活動を行い見学者数の増加を図る。	目標	キャンプ見学者数：7,000人 プロサッカーキャンプ誘致チーム数：2チーム	目標	キャンプ見学者数：8,000人 プロサッカーキャンプ誘致チーム数：2チーム